

【別紙】

見積条件

No.	項目	検討対象施設	照査項目	適用条件	歩掛の単位
1	現地調査	10施設相当を標準とする	—	現地踏査を行い貸与資料と現地との整合性を確認する。また、地形や周辺状況等を把握し、照査に必要な現地状況の把握を行う	1業務あたり（対象施設が増えた場合、1施設増毎の歩掛増を明記）
2	資料の収集・検討	10施設相当を標準とする	—	耐震照査のための資料収集及び貸与資料の内容を把握するものとする。また、貸与資料を基に照査対象断面を選定するものとする。	1業務あたり（対象施設が増えた場合、1施設増毎の歩掛増を明記）
3	地震動の比較選定	代表断面及び個別照査を行う施設	—	南海トラフ巨大地震（2014年中央防災会議）及び近隣の活断層（地質調査研究推進本部）の公表波形を元に、照査地点の波形を作成する。	1業務あたり
4	液状化の検討	液状化懸念層の存在するもの	F L法	FL法による液状化判定を行う。	1断面あたり
5-1	応答震度法（モデル作成）	地中構造物（横断方向）	—	成層かつ液状化層でない地盤の地中構造物に適用する。	1断面あたり
5-2	応答震度法（解析）	同上	躯体の断面力	同上	1地震波形あたり
6-1	応答変位法（モデル作成）	地中構造物（横断方向）	—	成層かつ液状化が懸念される地盤の地中構造物に適用する。	1断面あたり
6-2	応答変位法（解析）	同上	躯体の断面力	同上	1波形あたり
7-1	動的解析法（モデル作成）	地中構造物（横断方向）	—	非成層地盤又は液状化が懸念される地盤の地中構造物に適用する。	1断面あたり
7-2	動的解析法（解析）	同上	躯体の断面力	同上	1波形あたり
8-1	応答変位法（モデル作成）	地中構造物（縦断方向）	—	サイホンの縦断方向の照査に適用する。	1断面あたり
8-2	応答変位法（解析）	同上	躯体の断面力及び継手の変形	同上	1波形あたり
9-1	地震時保有水平耐力法（モデル作成）	取水口（土木構造物（ラジアルゲート形式））	—	—	1断面あたり
9-2	地震時保有水平耐力法（解析）	同上	躯体の断面力及び変位量	—	1波形あたり
9-3	動的解析法（モデル作成）	取水口（土木構造物（ラジアルゲート形式））	—	—	1断面あたり
9-4	動的解析法（解析）	同上	躯体の断面力及び変位量	—	1波形あたり
10-1	地震時保有水平耐力法（モデル作成）	放水工（土木構造物（ラジアルゲート形式））	—	—	1断面あたり
10-2	地震時保有水平耐力法（解析）	同上	躯体の断面力及び変位量	—	1波形あたり
10-3	動的解析法（モデル作成）	放水工（土木構造物（ラジアルゲート形式））	—	—	1断面あたり
10-4	動的解析法（解析）	同上	躯体の断面力及び変位量	—	1波形あたり
11-1	地震時保有水平耐力法（モデル作成）	放水工（土木構造物（ローラ、スライドゲート型式））	—	—	1断面あたり
11-2	地震時保有水平耐力法（解析）	同上	躯体の断面力及び変位量	—	1波形あたり
11-3	動的解析法（モデル作成）	放水工（土木構造物（ローラ、スライドゲート型式））	—	—	1断面あたり
11-4	動的解析法（解析）	同上	躯体の断面力及び変位量	—	1波形あたり
12-1	地震時保有水平耐力法（モデル作成）	チェックゲート2門（土木構造物（ヴォッチマン、アミル形式））	—	—	1断面あたり

【別紙】

見積条件

No.	項目	検討対象施設	照査項目	適用条件	歩掛の単位
12-2	地震時保有水平耐力法 (解析)	同上	躯体の断面力及び変位量	—	1波形あたり
12-3	動的解析法 (モデル作成)	チェックゲート2門 (土木構造物(ウォッチマン、アミル形式))	—	—	1断面あたり
12-4	動的解析法 (解析)	同上	躯体の断面力及び変位量	—	1波形あたり
13-1	地震時保有水平耐力法 (モデル作成)	チェックゲート1門 (土木構造物(ウォッチマン、アミル形式))	—	—	1断面あたり
13-2	地震時保有水平耐力法 (解析)	同上	躯体の断面力及び変位量	—	1波形あたり
13-3	動的解析法 (モデル作成)	チェックゲート1門 (土木構造物(ウォッチマン、アミル形式))	—	—	1断面あたり
13-4	動的解析法 (解析)	同上	躯体の断面力及び変位量	—	1波形あたり
14-1	地震時保有水平耐力法 (モデル作成)	チェックゲート2門 (土木構造物(シリアルゲート))	—	—	1断面あたり
14-2	地震時保有水平耐力法 (解析)	同上	躯体の断面力及び変位量	—	1波形あたり
14-3	動的解析法 (モデル作成)	チェックゲート2門 (土木構造物(シリアルゲート))	—	—	1断面あたり
14-4	動的解析法 (解析)	同上	躯体の断面力及び変位量	—	1波形あたり
15-1	動的解析法 (モデル作成)	分水工、合流工 (バイパス分岐、合流)	—	—	1断面あたり
15-2	動的解析法 (解析)	同上	躯体の断面力	—	1波形あたり
16	照査・点検取りまとめ	10施設相当を標準とする	—	—	1業務あたり (対象施設が増えた場合、1施設増毎の歩掛増を明記)



